

衛星データ利用者名

株式会社誠和

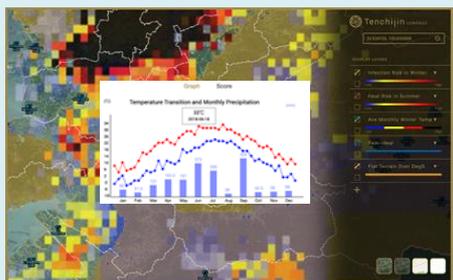
サービス提供者名

株式会社天地人、明治大学農学部

プロジェクト概要(200文字程度) 本提案は、明治大学農学部、施設園芸ソリューションの最大手である誠和、天地人が連携し、2019年度成果「天地人コンパス」を二つの観点(露地→施設園芸、果樹→野菜)で横展開し、波及効果を行うプロジェクトである。誠和の既存システムである栽培支援クラウドサービスへ天地人コンパスを接続し、衛星による各種情報(日射量履歴、降水量履歴、温度履歴等)を提供することで、ユーザ(販売実績約6000台)への価値提供を行うとともに、農業資材(遮光遮熱材や光合成促進剤等)の適切な時期での利用を提案する。

プロジェクト詳細(図表等を用いて説明)

■ 現状 (天地人コンパス)



- 温度&降水量の蓄積データ(履歴)のリスク評価
- 地形(勾配)の評価
- 農地情報の取り込み

■ 2019年度に識別された課題対応

過去の台風経路データを用いたリスク評価

ひまわり8号を用いた雲画像→日射量

コンパスへの機能追加

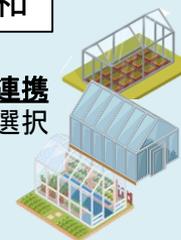
地質の影響

作物に応じた地質の改良施設による対応

■ 適用イメージと栽培実証

施設園芸への横展開@誠和

- 既存システムである栽培支援クラウドサービスとの連携
- ハウス内環境を改善する資材の選択(保温・遮光・遮熱・保湿等)
- 光合成促進資材の使用手法提案
- 収量予測



栽培実証@明大

- 栽培実証
- 品種選択、栽培管理(アスパラガス、トマトを想定)



波及効果

- 政府による省エネ施設園芸の推進
- 農業施設の災害被害減
- 施設園芸団体での活用
- JAセレサ川崎(その他、市町村での活用)

株式会社 誠和 研究開発部

- 事業への活用検討
- 既存システムである栽培支援クラウドサービスへの活用

明治大学 農学部 元木准教授

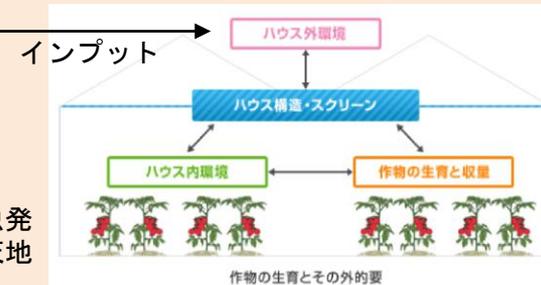
- 栽培実証(JAセレサ川崎等)
- 専門的助言

連携

株式会社 天地人

- 天地人コンパス機能拡張
- アルゴリズム開発(衛星データ - 地上センサの検証)

日射量芸への横展開の概念図(日射量の例*)



* 雨水確保や周辺地温(害虫発リスク)の観点で、従来の天地人コンパスの機能も重要。